

城取博幸の
山口のスーパーマーケット見聞録

NO157
2023年3月
城取フードサービス研究所
城取 博幸

山口県防府市の「種田山頭火」

2023-04-05 16:58:57

東京では桜が散り始めた 日中は温かいが朝夕はまだ寒い
4月に遅い雪が降ることもあったが、今年は花の咲くのが早い



椿か



ツツジのつぼみ



チューリップは満開



花がキレイなのはいいが早すぎる
異常気象といってもよい

広島のスーパーマーケット「SPARK」(2月中旬訪問)
広島県を中心に展開するスーパーマーケット



こいこい市場
青果売場が客をけい引している感じだ いい売場だ



チラシ



岩国れんこん

れんこんの穴を数えることはないが

れんこんの穴は普通 8 個か 10 個だが、岩国れんこんは穴が 9 個

それは、九曜紋に合わせたもの

岩国での栽培の始まりは 1796 年(寛政 8 年)、藩主吉川経忠の命を受け栽培されたのが起源
家紋の九曜に合わせて穴が九個のれんこんを選んだと言われている



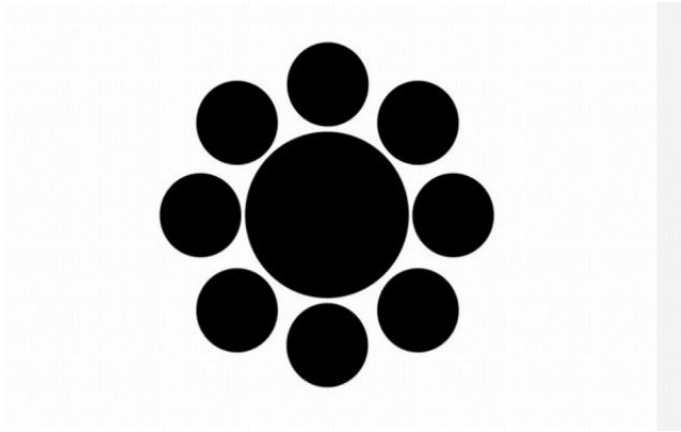
本当だ

れんこんの穴を数える人は少ない

こんな歴史あるれんこんを、厚切りにして煮込んだレトルト食品をつくればおもしろいが
食品メーカーに提案してもピンとこないようだ



九曜紋



地元のこんにやく



山口県岩国市錦町の「錦町農産加工株式会社」
前に工場見学をさせていただいた
道の駅ではいのしし料理を食べさせてくれる



「松山あげ」松山の乾燥揚げ



大型冷凍肉コーナー



地元の畜産加工品「福留ハム」



惣菜コーナーの「ホット麺・鍋」



「牛やおぎも」 牛の肺などの煮物



「豚足網焼き」「豚耳味付け」 これはインスタアパック
こうした品揃えがローカルスーパーの特徴



スパーク特選「巻き寿司」



8 品目の田舎巻



8 種類の野菜だけの巻き寿司

日本伝統のプラントベース(桜田夫を除く)の寿司だ よくできていておいしい



地元菓子



地元パン この工場見学もさせていただいたがある



ローカルスーパーマーケットはローカル商品があるからおもしろい
頑張してほしい

山口県防府市「種田山頭火の生家」



種田山頭火生家跡

明治 15 年、大地主の長男としてこの地に生まれる
早稲田大学に学んだが、病気のため中退帰郷
父と酒屋を経営するが失敗して妻子を連れて熊本に移った
44 歳で出家し全国行脚の俳人となる
「分け入っても 分け入っても青い山」



句碑「うまれた家は あとかたもない ほうたる」



「空へ 若竹 なやみなし」



ねこが迎えてくれた



山頭火の小径案内図 山頭火のお墓もある



墓のある「護国禅寺」



山頭火の石像



日本の寺院やお寺は出入り自由
誰にでも門戸を開いている
欧米のように入場料を取られることはない



山頭火の墓で合掌



「母よ うどんを供えて わたくしもいただきます」
山頭火は幼少の頃母を亡くしている
母への思いが現れている
「五七五」に捕らわれなくとも思いはよく伝わる
むしろこちらの方が自然だ



墓碑



しきみ



「枝に花が 梅のしづけさ」



山頭火ふるさと館



入口



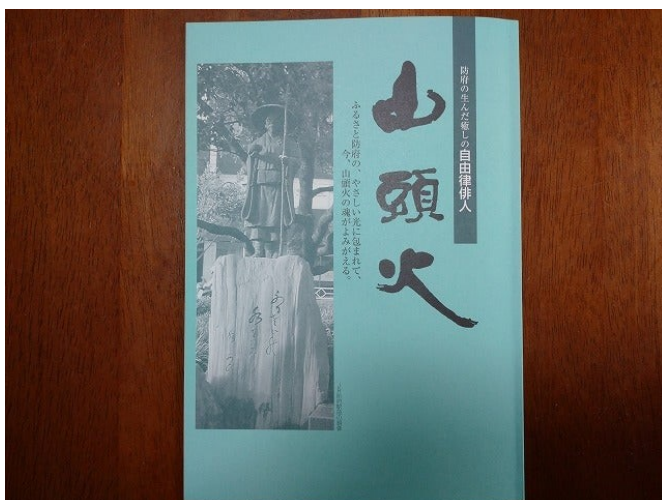
ここにも「伊那の井月さん」を届ける 館長と学芸員とお話をさせていただいた



館内



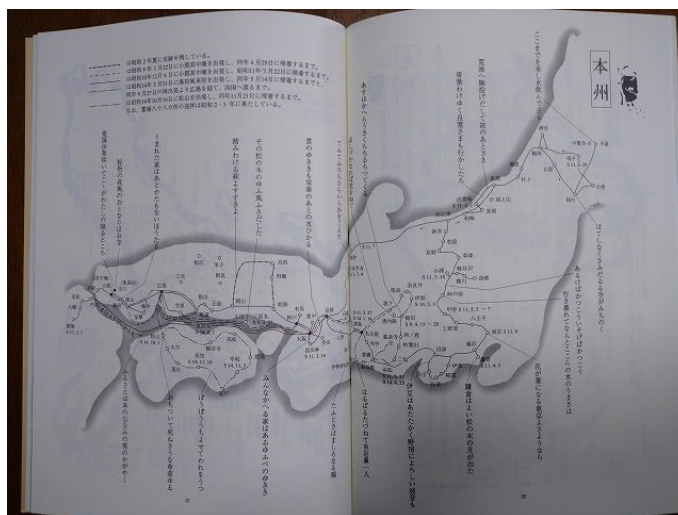
山頭火の本を購入



人脈地図



山頭火が歩いた道



信州にて書かれた句

「石に腰を 墓であったか(秋葉山中)」秋葉街道にて

「水音けふもひとり旅ゆく(天竜川)」

「なるほど信濃の月が出てゐる(信濃路)」

「この水あめの水の天竜となる水音(伊那)」

「おちつけないふとんおもたく寝る(木曾路)」

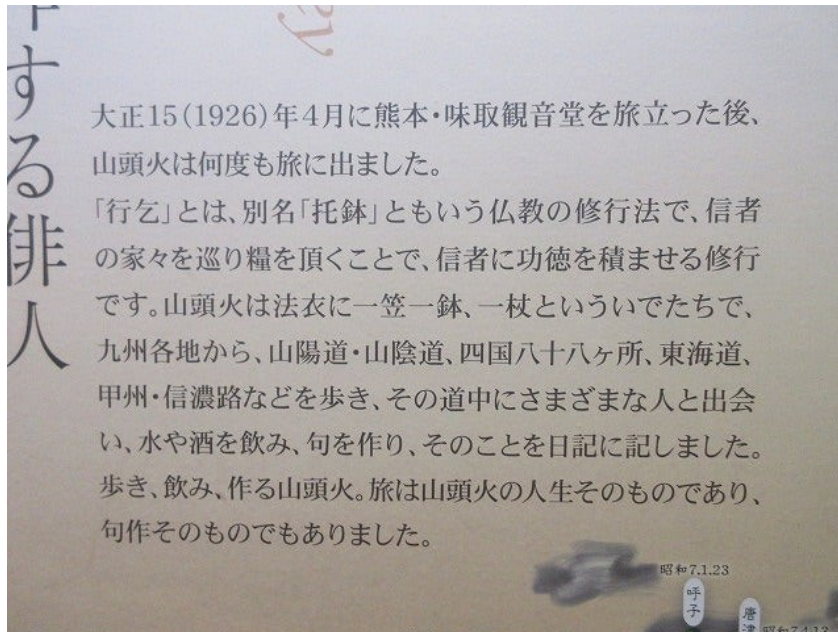
人物写真は「中原中也宅にて」



信州には3回訪れている

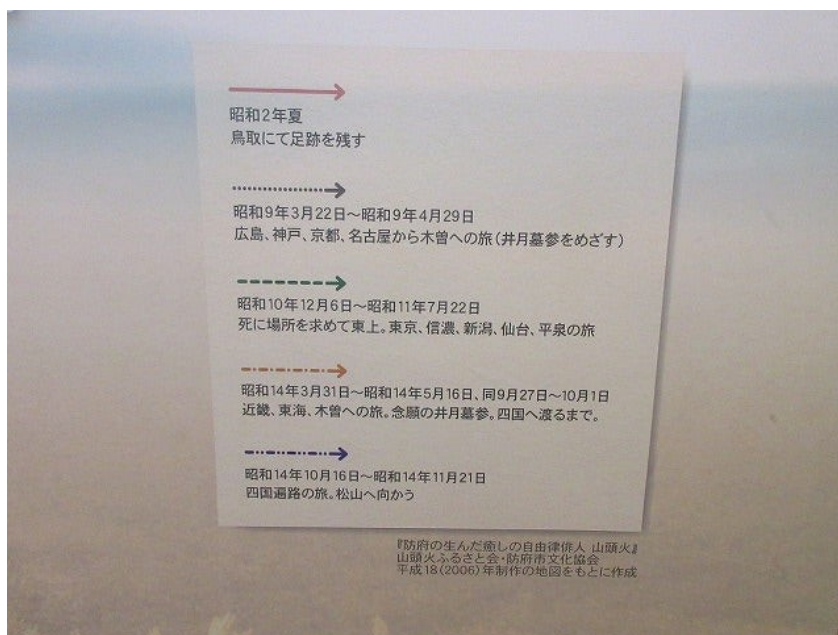


大正 15 年(1926年)、九州各地から、山陽道、山陰道、四国八十八カ所、東海道、甲州、信濃路などを「行乞」して歩き様々な人と出会った
 「行乞(ぎょうこつ)」とは、別名「托鉢(たくはつ)」ともいう仏教の修行法
 酒を飲み 句をつくる山頭火の生き方そのものであった



.....→の所に

「昭和14年3月31日～5月16日 近畿、東海、木曾へに旅
念願の井月墓参、四国へ渡るまで」までとある



「井上井月」の墓参りに浜松から伊那まで歩く

「秋葉街道」は中央構造線に沿っている道

武田信玄が三方ヶ原の戦いで通った道

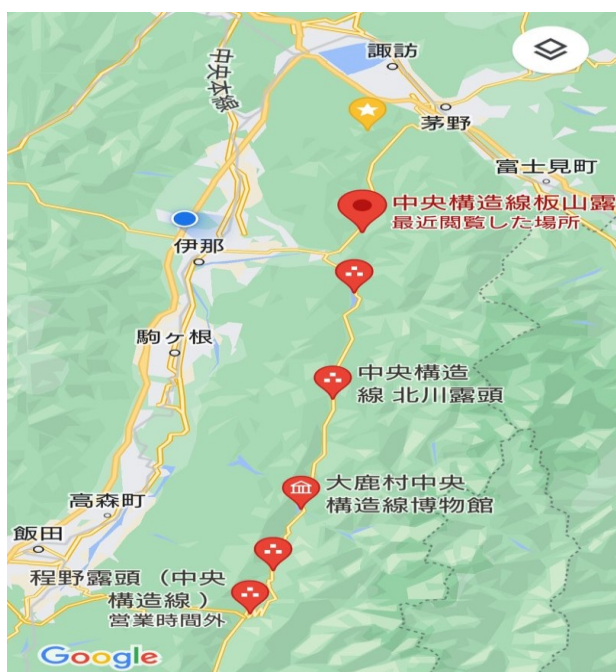
山頭火も歩いて伊那に向かった

帰りは権兵衛峠を越えて木曾へ

現在は道が整備されているため1日半で歩くことができるが当時は時間がかかったと思う
5月にこの道を車で通ってみよう計画している



中央構造線露頭 露頭とは野外において地層、岩石が露出している場所
「大鹿村構造線」は訪れた「板山露頭」「北川露頭」は孫を連れて石を拾う



山頭火の服装 ここで同じ格好で記念写真を撮ったが恥ずかしいのでやめた



どんどうどん 山口県で展開するうどん屋さん

安くておいしい 前に菘でもいただいたが、名物の「わかめおむすび」を食べ忘れた



メニュー



トッピング



左が「わかめむすび」110円



肉うどん、ちくわ天、わかめおむすび



乾燥したわかめがたっぷり

これで 110 円は安い



ちくわも大きい 透き通ったうどんつゆ



一味唐辛子



ご馳走様でした

愛媛からようどんを食べた

どこも特徴がありおいしかった

毛利家屋敷跡を見学して広島空港に向かう

毛利家屋敷跡の学芸員と連れの3人で、歴史の話に花が咲き2時間近くお話をさせていただきました

歴史に関係した場所を訪れ、おいしいものを食べ、地元の人と話をさせていただくことはとても楽しいことだ